

みとおし

—牛枝肉・豚枝肉・鶏卵・食鶏—

今月の市況

横バイ

牛枝肉

6月以降入荷は順調であるが（大阪食肉市場調べ1日平均 250 t）、一般に消費は夏場魚のサシミ等のあっさりした料理を好む向きもあって、減少することが予想される。また一方、大阪食肉市場調べでは冷蔵庫は満庫が続いており、8月上旬は活気なく買手市場となるであろう。しかし例年夏場は入荷減による反発高となっていることから、小巾ながらあげ模様に移ることが予想される。

ここ当分強気で

豚枝肉

水害の影響、加工筋の手当て買い、春子の出荷前のはざかい期に入ったため相場は続伸している。現在kg当り中値 360 円前後であるが、これ以上あがると一時に出荷が増えて反落が見込まれるところで微妙な時である。

しかし、輸入豚肉も放出されたあとだけに、よほどの入荷がつかないかぎり、とうぶん品うす気味から強気でうつると考えられる。

強気に向おう

鶏卵

7月上旬から中旬にかけて平年より 20 円安という予想外の値下りがあったが、このため産地における駄鶏淘汰が進み、それに加えて本格的な産み疲れ期に入ったため、7月下旬から入荷量は2割方減少してきた。それに一般消費も順調なため相場も好転してきた。

しかし、春ビナも1割ぐらいふえており、これ以上入荷がへるとは思えず昨年の高値はむりであろう。大体 190 円前後にはなろう。

強気！

食鶏

長い間低迷を続けた相場も、そのためヒナ導入の減少から、入荷が減り例年通り持直して来た。出荷されているブロイラーも暑さのため肉付きが悪く全般に小さいもので、今後も出荷は伸びないものと予想される。

現在中ビナkg当り 180 円であるがお盆をピークに 20～30 円の値上りで 200 円の相場も期待出来よう。8月一っぱいはいずれにしても強もちあいである。